

評価項目		評価	取組状況・成果・課題	改善策	学校関係者評価・第三者評価でいただいた意見等
各学校での目標（重点は○数字）・具体策					
Ⅰ 学校教育目標や学校経営の方針の設定状況			○教職員全体で学校教育目標達成のため全職員が積極的に仕事(業務)に取り組んでいる。(グランドデザインで共通理解・目標値等の設定) ○毎週木曜日に児童指導に関する情報交換会を行い、全職員で情報を共有することによって、他学年の児童の様子がより理解できるようになった。 ○教職員一人一人が児童の方を向いて協力し合いながら工夫して指導している。	○職員間の縦横の報告・連絡・相談ができるようになってきているが、さらに徹底を図ってきたい。 ○学校行事の成果や課題等の見直しを行い、感動・感化のある学校行事を企画・運営していきたい。	○児童の様子の変化など、小さな事に対しても気づきがあれば、職員間での情報の共有をお願いする。 ○①も②もすばらしい教育目標と具体策である。親としても率先垂範！一人一人の存在感！存在価値を認められているという実感！そういう目標や具体策が本当に活けることができるために、受け取る力、聞く力、理解の幅や深さを、私たち大人が柔軟に学ぶことが肝要と考える。 ○児童指導の情報交換会や情報の共有化は、小さな小学校ならではの強みにもなるため、今後もし是非行っていただきたい。 ○学習発表会で一人一人のよさが生かされるよう...とあるが、具体的にはどのように工夫されていたのか。さらに魅力のある行事にしてほしい。
① 愛情と情熱をもって日々の教育にあたり、職員の創意工夫と職員の和のもとに教育目標の具現化が推進されるように努める。 ・全教職員による率先垂範		A			
② 児童にとって居がいのある学校・学級づくりに努める。 ・学校行事や学年行事の工夫 ・一人一人の存在感、有用感を高める学級経営の工夫		A			
Ⅱ 保護者や地域との連携に努める			○HPで学習の様子を知らせることに努め、開かれた学校づくりを目指している。また、連絡メール等の活用により各種連絡等をスムーズに行うことができた。 ○各地区の区長さんの協力を得て、今年度から学校だよりを学区内全戸に回覧することが、できるようになった。 HPとともに、学校や児童の活動等を知らせるよい機会となっている。 ○地域の方々や学校評議員からの情報収集に努めている。また、学年PTAや各種行事等で、保護者の学校に対する要望や意見等を吸い上げるようにしている。	○今後もさらにHPの内容充実を図っていく。 ○保護者や地域の方々の要望や意見に迅速かつ適切に対応できるように努めていきたい。	○学校だよりの学区内全戸回覧は、地域への情報発信としてとてもよい取組だと思う。 ○教職員の方々は、誠意を持って保護者との関係を大切にしてくれていると感じる。ただ、HPもなかなか開く時間がなく、HPに使われた画像の中の我が子を見損なってしまうことがほとんどなので、学校で撮られた写真等をデータでいただけるとありがたい。 ○HP作成や地域との連携はすばらしいと感じる。また、保護者へ向けてのアンケート等も今後も続けていただきたい。 ○HPが更新されたことを保護者にメール配信してくれると、もっと多くの方に見てもらえるのではないかと。(週末にまとめてなど) ○学校教育目標の「やかた」など、本校の重点目標を横断幕などで地域に広く知らせるのも地域連携の一つの方法なのではないかと。
1 <u>HPや学校だより等を通して、保護者や地域に向け、きめ細かな情報提供し開かれた学校づくりに努める。</u> ・HPの積極的な更新等、情報発信の工夫 ・学校便り、学年便り等の各種便りによる情報提供の充実		A	○地域連携教員を中心に多くの人材の活用等を図り、さらに特色ある授業・行事等を行ってきたい。	○「栃木の子どもの基礎基本」の活用を図り、基礎学力の定着を図ってきたい。また、基礎基本が着実に身に付くように個別指導の時間を確保したい。 ○朝の学習を計画的に行い、基礎学力の定着を図りたい。 ○本校で進めているふりかえりの「かきとこわ」の実践により言語活動の充実を図りたい。 ○学力アップ週間の効果を検証し、さらに家庭学習が充実するように工夫する。 ○具体例を示しながら丁寧にやり方を教えたり、友達の模範例を紹介したりして自主学習の方法を正しく理解させ、さらに意欲的に取り組めるようにする。	○基礎学力の定着を図っていただきたい。 ○個に応じた学力指導とはとてもたいへんな仕事だと思う。情熱や努力だけではできないこと。学習指導の人的なサポートを具体的に得られるようにしなければ、ひどく教職員の方たちの負担が大きいと理解している。余裕の持てない状態では、子どもたちを豊かに理解することよりも、どうしても教え込もうとしてしまうことに追われるとも...。 ○家庭学習強調週間は、実践できている家庭がどれだけあるのか疑問である。実際何をしていたのか分からない、といった声をよく耳にする。具体的に何をやればよいのか、学習の仕方を教えてほしい。 ○先生方自身が何かに打ち込んでいる姿を子どもに見せるなど、知的好奇心を喚起することが大切だと思う。
② 学校評議会や保護者アンケートによる保護者や地域の要望の汲み上げと迅速な対応に努める。		A			
3 学校・地域・家庭が連携した交流事業による教育の活性化 ・読み聞かせボランティアや地域人材の活用 ・高齢者との交流活動 ・農業体験		A			
Ⅲ 確かな学力の育成に努める			○学習のきまり(全児童に配布)を全校職員が共同理解し根気強く実践している。特に挙手の仕方、姿勢や発表の仕方等について指導してきた。 ○基礎的基本的な内容を定着させようと、どの学年も努力していた。また、「ほめて、励まして、楽しく、分かる授業」の実践に努めた。 ○研究授業等で電子黒板の積極的な活用を図り、ICT教育の充実に努めた。 ○外国語講師とのふれあいが楽しそうで英語の授業が活発に行われていた。 ○家庭学習強調週間では、担任以外の教職員も朝の学習の指導に参加し、全校体制で学力向上に努めた。 ○家庭学習強調週間で保護者との協力を図り、家庭学習の習慣化に努めたが、児童アンケートでは家庭での学習の定着が図られていないようである。引き続き実施していく必要がある。 ○言語活動を重視した授業に努めるために全学年で研究授業を行い、目標達成のため授業研究会での意見交換も活発に行われた。 ○詩の暗唱は各学年とも意欲的に取り組み言語活動の充実を図ることができた。	○本校で進めているふりかえりの「かきとこわ」の実践により言語活動の充実を図りたい。 ○学力アップ週間の効果を検証し、さらに家庭学習が充実するように工夫する。 ○具体例を示しながら丁寧にやり方を教えたり、友達の模範例を紹介したりして自主学習の方法を正しく理解させ、さらに意欲的に取り組めるようにする。	○基礎学力の定着を図っていただきたい。 ○個に応じた学力指導とはとてもたいへんな仕事だと思う。情熱や努力だけではできないこと。学習指導の人的なサポートを具体的に得られるようにしなければ、ひどく教職員の方たちの負担が大きいと理解している。余裕の持てない状態では、子どもたちを豊かに理解することよりも、どうしても教え込もうとしてしまうことに追われるとも...。 ○家庭学習強調週間は、実践できている家庭がどれだけあるのか疑問である。実際何をしていたのか分からない、といった声をよく耳にする。具体的に何をやればよいのか、学習の仕方を教えてほしい。 ○先生方自身が何かに打ち込んでいる姿を子どもに見せるなど、知的好奇心を喚起することが大切だと思う。
1 基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させることに努める。 ・「栃木の子どもの基礎基本」の確実な定着 ・学業指導の徹底 ・個に応じた指導の充実 ・家庭学習強調週間の実施・学ぶ楽しさの醸成		B			
2 言語活動を重視した授業展開に努める。 ・詩の暗唱の推進 ・現職教育（学校課題研究）の充実		A			
Ⅳ 豊かな心の醸成に努める			○高学年児童が低学年児童の面倒をよく見て、昼休みなどに効果的な縦割り班活動ができていた。 ○児童指導関係の問題が起きたときに、チームで早期対応をすることができた。それによって問題が長期化せずに済んでいる。 ○相談室が整備され、教育相談の充実が図られてきている。 ○スクールカウンセラーによるQU研修やグループ面談は、学級経営にとっても参考になった。 ○配慮を要する児童の指導について共通理解が図られ、対応ができている。 ○下校時に各担当の先生方が行う説話は効果がある。 ○いじめゼロを目指していじめ防止基本方針をもとに全教職員が一丸となって実践している。 ○教育相談週間には、事前にアンケートで個々の児童の様子を把握し。子どもたちの悩みを理解することに努めた。 ○児童が困っていることや悩みなどを聞き取るハートの日のアンケートは、毎月行っているなので、マンネリ化しないような工夫が必要である。 ○小規模校の特質で、人間関係がどうしても固定化してしまうことがある。	○道徳の授業の充実を図り、児童の道徳的実践力を高めていくとともに、授業参観で道徳の時間を公開し、保護者への協力も仰いでいく。 ○心の教育の充実を図るために、読書の習慣をさらに身に付けさせたい。 ○縦割り班活動をさらに充実させ、いろいろな友達と関わりがもてるようにしていく。	○元気なあいさつができているが、引き続き指導をお願いしたい。 ○私見だが「心の教育」という言葉には違和感がある。心とは教えるもの、変わるものというよりも、学び、学ぶものだという方がピンとくる。具体的には、学校での取組を信頼している。私自身は、人の中、子どもの中にある輝きやきらめきを豊かに見いだすことができるように、成長し続けること、そのことを相手に伝える力を育てることを自ら意識している。そうやってさまざまな人と、その人をその人として出会い、共に生きたいと、そのように願い求めてやまない。 ○努力をしているのがよく分かる。とてもたいへんなことだが、今後とも続けていただきたい。 ○本校の児童に欠けているところとして、先生や目上の人に対しての言動が気にかかる。家庭での指導が主となるが、その辺も併せて検討したい。もっと指導してほしい。 ○言葉のあいさつだけでなく、廊下ですれ違うときに会釈などができるようになることさらによい。
1 「心の教育」を基盤とし、思いやりの心、感謝の心や奉仕の精神と実践力の育成に努める。 ・道徳の授業の充実 ・児童理解と教育相談の充実 ・読書の奨励		B	○各学年や委員会等で朝のあいさつ運動を行い、自覚を高めている。 ○相手のこと考えた言葉遣いについては、継続的に指導している。 ○校内でのあいさつは良くなってきている。地域でも実践できるよう指導している。 ○帰りの会で、今日自分ががんばったことを発表するなど、児童の自尊感情（自己肯定感）が高められるよう努めている。	○学校・地域でのあいさつが定着化するよう工夫を図る。	○あいさつ運動は、保護者にも協力してもらえるとよい。 ○地域住民は学校に期待している。が住んでいるところに学校があるという安心感がある。先生方は自信を持って指導に当たってほしい。
② 明るいあいさつやありがとう(感謝のことば)の習慣化に努める。 ・全教職員による率先垂範 ・時と場に応じた正しい言葉遣いの指導		B			

Ⅴ 健やかな体の育成に努める		○安全点検後、営繕箇所が素早く改善されとても安全に生活することができた。 ○全校体制で姿勢指導に取り組むことができた。 ○歯科治癒率を高めるため、児童への指導や家庭への働きかけを積極的に行った。また巡回歯科診療の利用率が高まった。 ○望ましい食習慣や食事のマナーが身に付けられるよう指導しているが、お箸の正しい使い方ができていない児童が多いので今後も継続した指導が必要である。 ○学校保健委員会への保護者の参加が少なかった。検討していきたい。	○食べ物の好き嫌い等食育については、関係機関の協力を得ながら根気強く指導していく。保護者に働きかけも必要。	○基礎体力の向上に努めていただきたい。
① 健康安全教育の充実を図る。 ・自他の生命を尊重する安全教育の徹底 ・交通安全教育の推進 ・家庭と連携した食育の推進	A	○町の体力向上部会で共通理解を図った重点目標を、毎時間確実に実施し、一年間継続して取り組んでいく。		○子どもたちの健康を守り、体力を向上させるために、学校が考え、働きかけてくださっていることにたいへん満足し感謝している。 ○よくやっていたいていると感じる。
② 教科体育の指導を充実させ、体力の向上を図る。 ・教科体育の指導内容の工夫による運動量の確保と体力の向上	B	○縦割り班がよく機能し、協力して清掃に一生懸命取り組む児童が多かった。上級生が下級生をよく手助けしている。	○今後とも、全校生が日頃から環境美化に努めていく態度を育成していきたい。	
③ 日々の清掃活動に力を入れ、汚れや塵に気付き、きれいにしようとする態度を育成する。 ・清掃活動の教職員との共働	A	○班や班長によって清掃への取り組み方にばらつきがあった。	○教職員が指導しながら、常に一緒に活動することが大切である。	